

幼児期に大切にすべきこと

- 毎日同じ時間に同じやり方で
- 声かけは短く、同じ言い方を繰り返す
- 子どもがどんな抵抗を示そうがやるべきことはやり通す
- 子どものペースに巻き込まれない
- 終わりを決め取り組む
- とともに喜ぶ
- できるようになる支援

小学校の間に大切にすべきこと

- 基本的行動の定着
ルール概念・身の回りの整頓・生活スケジュール・安全・手伝い
- 対人関係の基礎作り

- * もっとも対応しやすい時
- * 将来を間違いなく決める時代
- * 行動的理解の時代

中学校の間に大切にすべきこと

- 行動力と理解のギャップを埋める
- パターン化した思考から柔軟な思考へ
- 多彩な人関係の気付き・理解
- ストレスへの対応
- 自由時間の使い方の多様化
- 自身あることの発見(自己理解の基礎)

指示や注意を控える対応

高校の間に大切にしたいこと

- 生活範囲の拡大
- 自分の適性への理解(能力を生かし高める)
- 存在価値を高める
- 自活の基礎作り(完璧を目指さない)
- 第三者的な視点の確保(主観と客観)
犯罪への意識・金銭感覚・恋愛
- 余暇の利用

障害受容

障害受容＝苦手なことに目を向けられる

私たちは『こういうことができるのに○○できないのはなぜ?』の世界に生きている

発達障害の子どもには『こういうことができる』がない

↓
成功体験がない
↓
障害受容ができない

自立

自立＝自活ではない

自立とは

- 余分な支援を受けないこと
- 持っている力を100%主体的に発揮すること